

令和7年度
所管事務調査報告書

令和8年1月
竹富町議会経済委員会

【調査目的】

西表島における主要な水道事業関連施設の現地踏査を行い、機能及び運用面の実態や施設の管理運営の現状を把握することで、更なる円滑な運用や諸課題にかかる改善点等について調査・研究を深め、公営企業の原則である独立採算性や経営の健全化に向けた提言や政策・施策の形成に資することを目的に所管に関する事務調査を実施した。

【調査実施日】 令和 8 年 1 月 13 日（火）

【実施場所】 西表島（水道事業関連施設）

【総務財政委員】

山下義雄委員長、上盛政秀副委員長、山盛力委員、加屋本真一委員、前津芳生委員

事務局随行者：宮里良貴事務局長 / 当局説明員：上下水道課大屋課長、上亀直人係長

【行程】

所要時間	行き先等	備考
8：40	石垣離島ターミナル集合	上盛・加屋本委員
9：00～9：50	石垣港発～仲間港着	移動（総務課車両）
10：00～11：35	東部第1区浄水場・大富林道	上下水道課説明
11：35～12：20	移動	
12：20～12：40	上原第2区浄水場（災害復旧工事他）	上下水道課説明
12：40～13：10	昼食	
13：10～13：25	移動～白浜浄水場	
13：25～13：40	白浜浄水場	上下水道課説明
13：40～13：40	移動（白浜～大原）・現地委員解散	
13：40～15：50	仲間港発～石垣港着	
16：00	解散	

1. 東部第1区浄水場・大富林道（上下水道課大屋裕次課長・上亀係長による説明）

今回の調査では、主に管理道（大富林道）の現状及び今後の管理の適正化について着眼し行った。

◆ 施設概要

東部第1区浄水場は西表島東部地区の大原、豊原、大富地区への給水を担う施設（932 m³/日）である。

第1区浄水場は、沖縄森林管理署が所管する大富林道沿いに設置され、通

常時は一般の方による自動車の進入は禁止され、森林遊歩道としての位置づけとなっている。

竹富町上下水道課では浄水場及び水源地の管理にあたっては、施設及び送水管の敷設のため、森林区域及び林道の一部を借受し、水道事業の運営を行っている。なお、日々の管理については、現地管理人の委託により管理を行っている。
(2回現地点検/日)



◆ 現状と今後の管理運営の適正化

大富林道はそのほとんどが未舗装道路（コーラル敷・一部コンクリート舗装有）であり、両端に側溝が設置されているものの、ほとんどが土砂で埋まっており、その機能を発揮できていない。そのため、路面や路肩が大雨時に流され、多くの箇所を土嚢袋で一時補修の対処を行っているが、日々の管理のための往来に大きな支障をきたしているのが現状である。



が行されるよう強く望むものである。

道路の補修にあたっては、状況に応じて竹富町の負担により実施しているが、沖縄森林管理署において、所有者としての維持管理及び補修・改修にかかる相応の負担がなされるべきであると考察するとともに、森林を楽しむ遊歩道として安全で快適な利活用を図るための一定の整備、維持管理



なお、林道入口から約3.4キロには仲間川・マングローブ林や新城島が展望できる仲間川展望台（RC造）が設置されており、観光施設としての更なる利用促進が見込まれることから、国、県、竹富町における相応の負担と連携の強化による大富林道の利活用の促進が図られるよう望む。

◆ その他

林道の入口には、猪の進入を防ぐグレーチングが設置されているが、側溝



が土砂で埋まり、その機能が発揮できない状況である。

上下水道課を含め、農業関連施設を所管する農林水産課や地域農家との連携により、当該設備が適正に管理されるよう確認した。

2. 上原第2区浄水場/災害復旧事業含む（上下水道課大屋裕次課長・上亀係長による説明）

◆施設概要

上原第2浄水場は上原地区全域と鳩間島への給水を担う施設（629 m³/日）である

当該施設は、令和4年10月の集中豪雨により施設の背後にある斜面から施設内にかけて地滑りが発生し、進入路の陥没、隆起や埋設導水管の破損、施設の傾倒など甚大な被害を受けた。



この災害を受け、令和4年12月の仮復旧工事を皮切りに令和7年度末にかけて厚生労働省の補助を適用した災害復旧が行われた。（総事業費1億8千7百万円）

- ・地滑り法面工事 ・導水管修繕
- ・受水層施設更新 ・道路舗装 ・敷地舗装 等



◆令和7年10月の飲料制限について

令和7年10月に上原第2浄水場の区域内で発生した濁り水・水質悪化（クリプトスポリジウム）については、緊急的な給水体制により一定の地域住民の生活及び生産活動を保持することができた。水質の悪化の要因は、汚染水が検出された蛇口が特定されていることなどから外部接触に起因し、施設不具合などではないこととされた。

◆砂ろ過砂について

水槽に砂、砂利の層を敷き詰めて、それらを浄化するフィルターとして浄水しているが、現在、使用しているろ過砂の仕入れ元の取り扱い停止により、代わりとなるろ過砂について、適正検査を行いながら検討を進めている。

3. 白浜浄水場

◆ 施設概要

白浜浄水場は、白浜地区へ給水を担う施設（96 m³/日・給水人口 131 人）である。



当該施設へ通じる県道は大雨等の影響により、路面の欠落や法面の崩落が進んでいた中、令和 4 年 9 月の大雨で大きな被害を受けた。現在は令和 6 年度より沖縄県が復旧工事を行い令和 7 年に完了された。

県道の復旧工事にあわせて、竹富町では施設進入路のコンクリート舗装や新たなゲート設置（事業費 2,376 千円）を行った。



【委員長所見】

東部第 1 区浄水場の施設については、施設自体の運用等に特段の大きな課題は見受けられず、適正な管理運営が行われている。日々の管理には、大富林道の利用が欠かせないことから、大富林道の維持管理については、沖縄森林管理署と連携し、より適正な管理体制を構築する必要がある。当該林道エリアでは、優れた自然環境を有し、仲間川マングローブ林や西表島の山々、新城島が見渡せる仲間川展望台が設置されていることから、浄水場施設の維持管理での通行環境はもとより、観光資源の観点からも更なる利用促進に努めることの重要性が改めて認識された。

上原第 2 区浄水場施設では、大規模な災害を受け、施設及び進入路や敷地アスファルトなどの付帯施設や施設に接する法面の崩落防止など復旧工事が完了し、通常の施設機能が維持されている。

白浜浄水場においては、県道の崩落による復旧工事が本年度で完了したことにあわせ、施設進入路及びゲートが改修され、引き続き安定的な水道事業

が行える環境が整備された。

今回、調査した西表島における水道事業関連施設の維持管理や事業経営にあたっては、竹富町公共施設等総合管理計画や個別の事業経営戦略に掲げた料金見直しや企業会計へ移行に合わせた財務諸表の様々な情報を活用した、より戦略的な経営に努め、採算性の原則に基づいた公営企業としての経営の健全化に向けた取り組みを推進されるよう強く望む。